



静岡県教育委員会
教育広報紙

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

平成27年(2015年)
10月20日
火曜日
第161号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_selsaku@pref.shizuoka.lg.jp

駆出し教育長として 思うこと

静岡県教育委員会 教育長 木苗直秀



川勝平太知事より「静岡県教育長の職を命ずる」の辞令を頂いて4カ月が過ぎました。本年3月まで身を置いた大学学長職と異なり、幼・小中高生が約46万人、教職員が約3万4千人の教育界ゆえ、戸惑うことも多くありました。毎日、レクチャーや説明会を開いていただいたので、教育委員会事務局250人のスタッフは対応に追われる毎日だったと思います。



ランチミーティング

ランチミーティング
加の3
要素は
健康長



「有徳の人」づくり
を
目指して

寿社会の形成に必要な不可欠です。

きました。静岡県立大学学長当時、県が主催するいくつかの会議に出席していたので、顔見知りも多く、意見交換をスムーズに行えることは幸いだと感じています。また、昼食時に教育長室で語らう「ランチミーティング」には、担当ごとに5〜10人が参加するの、情報交換の場として有用であり、既に十数回行いました。

健康長寿社会に欠かせないもの



有徳の人

敬老の日の新聞各紙が、我が国では少子高齢化がさらに進んでおり、65歳以上の方が3,384万人と全人口の26.7%を占めていること、100歳以上の超高齢者が61,500人に達したことを報道していました。また、65歳以上の就業人口は681万人と多く、高齢者の社会での活躍は極めて喜ばしいことと思われています。本県が健康寿命日本一であることを考えると、「ふじ33プログラム」に見られるように食生活運動、社会参加の3要素は健康長



地域の方の支援による「お茶の入れ方」授業を見学(掛川市立西郷小学校にて)

「有徳の人」づくりを
目指して

本県は、静岡県教育振興基本計画「有徳の人づくりアクションプラン」第2期計画に基づいて、「有徳の人」すなわち①自らの資質・能力を伸ばし、個人として自立した人②多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にすること③社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し行動する人の育成を目標としています。また、この目標の実現に向けて、ライフステージに応じた学びを支える縦の接続と、家庭、学校、地域、職場等が互いに学びを支え合う横の連携の推進を通して、生涯学習の実現や重要課題の解決を目指しています。このような中、定期的に開催される移動教育委

員会や総合教育会議において、県内外の情報を共有し、意見交換することは有意義な手法です。さらに、県内外の専門家による各種会議を通して、本県の優位性を生かした提案を頂けるので、大いに活用させていただいています。

「教える」から「共に学ぶ」へ

現場で感じる

これからの課題
「主権者教育」の重要性

最後に

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

文部科学省では、今後学制の在り方、すなわち幼児教育や小中高教育(小中・中高一貫教育を含む)、職業教育、高大接続・連携などについての指針を示すとともに、ICTを活用した教育、英語教育等がより一層重要性を増しているとしています。

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して

「有徳の人」づくりを
目指して



学校訪問で授業を見学(三島北高等学校にて)

て、将来の国際人への第一歩を歩み出してほしいようにも思えました。土曜日や日曜日は、中高生のスポーツ大会や科学、音楽、作文などのコンクールに出席し、あいさつの後、見学者を含め地域社会との信頼関係を破壊するものではないかと懸念しています。それゆえ、全教職員が「綱紀の保持」と「信頼の回復」に向けて、一層まい進されることを切望しています。特に、各学校の校長、副校長、教頭、学年主任等の皆様には、個々の教職員と積極的に意見交換し、「ストレスの解消」と「児童生徒と真に向き合える教員」への環境づくりを御尽力いただけることを期待しています。皆様にも明日の若者づくりに私も協働したいと思っております。

「有徳の人」づくりを
目指して

実践NOTE 31

豊かな自然の中で 心と体の開放感あふれる 保育をめざして

牧之原市立地頭方幼稚園 園長補佐 友田 郁子



園児と一緒に蒸炒り茶作り(筆者・右)

を作りました。今年で9年目になります。

5月中旬、代掻きを済ませて水を張ると、田植えの日までは泥んこ遊びで盛り上がりがあります。何より人気があるのは、田んぼの横にある橋の上から

どろんこ田んぼへのダイブです。大きな歓声とともに色々なポーズで何度も飛び込み、瞬間に体中泥だらけ、白い歯がきらりと光って見えました。

田んぼには今年もたくさんのおたまジャクシが生まれました。毎朝登園すると、カバンを背負ったまま田んぼをのぞき込む年中児がい

ます。身支度を済ませると、小さなカップを片手に田んぼまで歩いていきます。

「これで捕まえてみようかな」と小さなシヤベルや粉洗剤用のスプーンを持ってきて、素早く逃げ

るおたまジャクシとの格闘は何日も続きました。おたまジャクシに手足が生えて、飛び跳ねるようになると大苦戦「手足があるおたまジャクシってカエル?カエルジャクシ?」と素朴な疑問も生まれました。



泥んこ田んぼにダイブ!!



川の中には何がいるかな?

近くの小川に、タモをもつて入ったら...

園から100mほどの所に幅1.5m位の小川があります。

年長児は、小さなタモを持って川に入ります。川縁の泥をググッとすくい上げ、水面でジャブジャブ泥を洗い流すと、タモの中に、エビ、ザリガニ、ドジョウ、ヤゴが入って

いて、「いたあ〜」えび捕まえた二見せて見せてと歓声が飛び交います。園児は夢中になって捕ま

えました。土手に上がり、履いていた長靴の中の水をこぼすと、そこにもエビが入っていて、園児たちは大笑いしました。

おいしいことは、楽しいこと「こちそうタイム」

本園では、園内や近所で収穫した野菜などをすくで調理して、でき立てホヤホヤをみんなで食べる「こちそうタイム」を行っています。



みんなで茶飲み

園生活が不安で、おやつも給食もほとんど食べなかった年少児のAちゃん、この「こちそうタイム」で食べたことをきっかけに、給食も少しずつ食べられるようになりました。

近くのお茶畑では毎年、お茶摘みを体験させてもらっています。摘んできた茶葉を使って、お茶クッキーを焼き、ホットプレートで蒸炒り茶も作ります。翌日は保護者を招待しての「お茶パーティ」。今年はお茶の天ぷらも添えて、ちよびり豪華にする

と大奮発されました。みんなとワイワイ気楽に食べるのが、子どもたちの心を開かせ、おいしい体験が楽しい体験になっていきます。

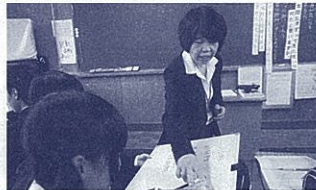
環境の豊かさに感謝し、今しかできないことを、こでしかできないことを見逃さず、体験を積み重ねることで、子どもたち

は心も体も開放され、仲間と共に豊かに成長していくのだと考えます。

実践NOTE 32

夢や希望をもつて力強く 生きようとする子の育成 子どもの自己肯定感を育む道徳

清水町立清水中学校 教諭 杉山 寛子



筆者

「道徳の時間」は自分と向き合える時間

清水町立清水小学校、西小学校、清水中学校3校は、平成25・26年度文部科学省「道徳教育支援事業」指定研究を受けま

した。「道徳」は規範意識の定着 と思いがちですが、研究を進めるうちに、道徳の時間は自分と向き合える時間だと考え始めるようになりました。経験の少ない小学生が、他人の経験を通して自分を見つめ「自分だから」と考える時間なのです。

今回の取組は、授業づくり「実践活動」連携の三研究部での実践となりました。重点指導内容を「自主・自立・寛容・

謙虚」「生命尊重」「勤労・社会奉仕」の四つに絞り、校内外活動で実践研究を進めました。

「1 授業づくり研究部」生徒一人一人の心の活力を高める授業を行う方法を模索しました。私は道徳教育推進教師として、全校で道徳的価値を共有できるような年間計画と生徒が主人公の葛藤や自分の気持ち、自己評価も残せる「心のシート」を作成しました。これは学んだことを振り返るワークシートです。毎時間全学級で振り返りを行い、教師のコメントを添えてファイルにとじ込みます。

「2 実践活動研究部」その子のよさやよい行いを本校では「ディスプレイ」と呼びます。授業をはじめ、学校生活の一場面や学校行事などで「友達のように」と励まします。互いに共感的に語り、認め合える心温まる環境こそ、のびと自分を発揮できる場なのです。

「3 連携研究部」生徒会で、「10」がつく日に「こみり運動」を行います。同じ日に、保護者主催の「Smile Gate ありがとう運動」で明るいあいさつが交わされます。美化担当の保護者が、環境美化状況を確認して主体的に活動し、生徒も一緒に奉仕作業を行いました。暑い中でも一生懸命に働く姿はとても爽やかで、勤労意欲を感じました。



研究部の発表



道徳授業の様子

「1 授業づくり研究部」生徒一人一人の心の活力を高める授業を行う方法を模索しました。私は道徳教育推進教師として、全校で道徳的価値を共有できるような年間計画と生徒が主人公の葛藤や自分の気持ち、自己評価も残せる「心のシート」を作成しました。これは学んだことを振り返るワークシートです。毎時間全学級で振り返りを行い、教師のコメントを添えてファイルにとじ込みます。

「2 実践活動研究部」その子のよさやよい行いを本校では「ディスプレイ」と呼びます。授業をはじめ、学校生活の一場面や学校行事などで「友達のように」と励まします。互いに共感的に語り、認め合える心温まる環境こそ、のびと自分を発揮できる場なのです。

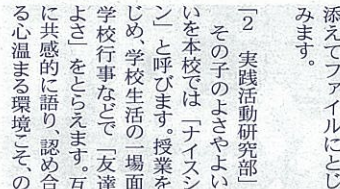
「3 連携研究部」生徒会で、「10」がつく日に「こみり運動」を行います。同じ日に、保護者主催の「Smile Gate ありがとう運動」で明るいあいさつが交わされます。美化担当の保護者が、環境美化状況を確認して主体的に活動し、生徒も一緒に奉仕作業を行いました。暑い中でも一生懸命に働く姿はとても爽やかで、勤労意欲を感じました。

「夢や希望をもつて力強く生きる子」今回の研究実践で、内面的資質である道徳的実践力が生徒に芽生えています。今後も、自分の生き方や在り方を真剣に考え、自ら作品を生み出す御鑑賞ください!!

「美術展・写真展」日時 10月20日(火) 11月3日(火・祝) 10月26日(月)は休館日 10時~17時30分(入場17時まで)

会場 県立美術館 展示室1・6、県民平ヤラー1 (静岡市駿河区谷田) 入場無料

問・申 県文化政策課 054-221-2254 昨年度の美術展入賞作品「ANDRYU」と制作者の県立天竜高等学校生徒の皆さん



「心のシート」への記入



「心のシート」への記入



「心のシート」への記入

「夢や希望をもつて力強く生きる子」今回の研究実践で、内面的資質である道徳的実践力が生徒に芽生えています。今後も、自分の生き方や在り方を真剣に考え、自ら作品を生み出す御鑑賞ください!!

「美術展・写真展」日時 10月20日(火) 11月3日(火・祝) 10月26日(月)は休館日 10時~17時30分(入場17時まで)

会場 県立美術館 展示室1・6、県民平ヤラー1 (静岡市駿河区谷田) 入場無料

問・申 県文化政策課 054-221-2254 昨年度の美術展入賞作品「ANDRYU」と制作者の県立天竜高等学校生徒の皆さん

「夢や希望をもつて力強く生きる子」今回の研究実践で、内面的資質である道徳的実践力が生徒に芽生えています。今後も、自分の生き方や在り方を真剣に考え、自ら作品を生み出す御鑑賞ください!!

「美術展・写真展」日時 10月20日(火) 11月3日(火・祝) 10月26日(月)は休館日 10時~17時30分(入場17時まで)

会場 県立美術館 展示室1・6、県民平ヤラー1 (静岡市駿河区谷田) 入場無料

問・申 県文化政策課 054-221-2254 昨年度の美術展入賞作品「ANDRYU」と制作者の県立天竜高等学校生徒の皆さん

「夢や希望をもつて力強く生きる子」今回の研究実践で、内面的資質である道徳的実践力が生徒に芽生えています。今後も、自分の生き方や在り方を真剣に考え、自ら作品を生み出す御鑑賞ください!!

「美術展・写真展」日時 10月20日(火) 11月3日(火・祝) 10月26日(月)は休館日 10時~17時30分(入場17時まで)

会場 県立美術館 展示室1・6、県民平ヤラー1 (静岡市駿河区谷田) 入場無料



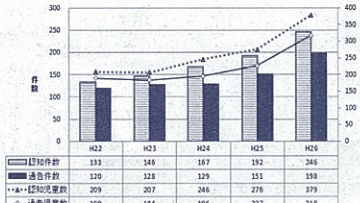
「心のシート」への記入

ストロップ・児童虐待

11月は児童虐待防止推進月間です

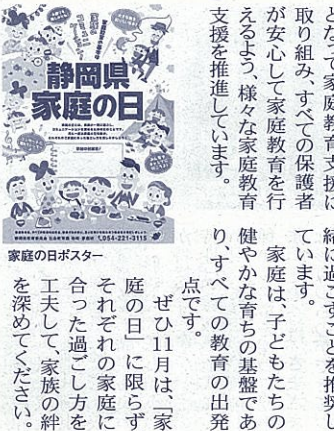
児童虐待の認知・通告件数が過去最高に

平成26年中、静岡県警察が認知した児童虐待事件数は246件379人(前年比54件103人増)



届け！ 家庭教育の学び！！

平成26年10月に「静岡県家庭教育支援条例」が制定されてから、1年がたちました。



など的人身安全にかかわる事案に対応しています。子どもたちのSOSを見逃がさないで！

児童虐待を発見したら

児童虐待の疑いがある子どもを発見したら、速やかに市町児童相談所へ通告することが重要です(児童虐待防止法第6条)。

人身安全対策課を新設

県警察では、児童虐待をはじめとする人身安全にかかわる事案への対応を強化するため、平成27年4月、人身安全対策課を新設し、24時間体制で児童虐待やDV、ストーカーにかかわる大人には、この

「家庭の日」等で家族団らん！

毎年11月は「家庭教育を考える強調月間」です。また、県は、月に1度は「家庭の日」を各家庭の都合の良い日に設けることを呼びかけ、家族が一緒に過ごすことを推奨しています。

「親学講座」の実施を！

学校の就学時健診や入学説明会、入学式など、すべての保護者が集まる機会に「親学講座」を行うことで、すべての家庭に家庭教育支援を届けることができ、各小中学校の事情に応じて講座の実施をお願いします。

家庭教育クリアファイルを作成しました。

家庭教育支援員の派遣や家庭教育クリアファイルが必要な場合は、市町家庭教育担当者に御相談ください。

「わたしの主張2015」第37回県大会を開催

中学生が日常生活の中での様々な体験を通して考えたこと、感銘を受けたことなどを発表する「わたしの主張2015」県大会が平成27年8月20日(木)、島田市市民総合施設プラザおおひらにて開催されました。

最優秀賞は「顔を上げて」安藤綺更さん

(静岡大学教育学部附属静岡中学校) 安藤さんは、電車で席を譲ったときのやりとりから、誰もが気遣う意識を持つべき「公共の場」づくりについて主張しました。

「社会教育課」

思いを語った発表者

登録アーティストアウトリーチ事業

静岡県文化財団では、グラシンツプでの自主公演の開催だけでなく、グラシンツプまで足を運ぶことが難しい方々に対して、こちらから出向いて文化芸術に親しむ機会を提供するアウトリーチ事業を展開しています。



絵本を使ったコンサートの様子

9月8日には掛川特別支援学校にて、グラシンツプアウトリーチ登録アーティストの小林摩湖さん(ピアノ)による絵本を使った音楽コンサートが開催されました。午前中に肢体不自由の学級向けに45分、午後には昼休みコンサートとして、出入り自由の20分のオリジナルプログラムを演奏しました。子どもたちは初めての体験に目を輝かせて驚いたり喜んだりしてたくさん笑顔を見せてくれました。

平成18年度より始まったグラシンツプのアウトリーチ事業では、グラシンツプで開催されている公演と同様、高質で多彩なプログラムを県内の学校や施設で実施しています。事前に担当者が打合せを行い、各学校の状況やニーズを把握し、オリジナル性の高いミニコンサートやワークショップを開催することで、他にはない芸術体験をお届けします。プログラムは音楽、演劇、伝統芸能など様々なジャンルがありますが、中でもオーティションで選ばれた地域のアーティストによるアウトリーチ登録アーティストミニコンサートは、対話を重視した演奏プログラムとなっており、より身近に音楽に親しむ機会となっています。ぜひ一度、グラシンツプのアウトリーチ事業をご利用ください。

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714

「公財」静岡県文化財団事業課

054(203)5714



出土した武器と武具(駿府城内遺跡・葦山城跡)

静岡県出土の逸品⑧ 城で出土した戦の道具

「駿府城内遺跡(静岡市)・葦山城跡(伊豆の国市)」

城は、本来軍事施設であるため、戦の道具である武器・防具がしばしば出土します。今川氏館の関連遺跡である駿府城内遺跡、また戦国大名の北条氏が豊臣秀吉軍を迎え撃った葦山城では、武士たちが使用したと思われる遺物が見つかっていきます。

刀は、武士の主要な武器といえます。駿府城内遺跡では、刀そのものではありませんが、鐔(つば)を固定する金具である切羽(せっぽ)や鞘(さや)金具、また刀の付属品である拵(こうがい)や小柄(こづか)が出土しています。

葦山城で出土した小札(こざね)は、つなぎ合わせることで鱗のように鎧の表面を覆う部品です。また、戦国時代末期に盛んに使用された鉄砲玉も出土しています。玉は、鉛でできており、一部が破損していることから、実際に使用されたものとみられます。同じく秀吉の小田原攻めの舞台となった山中城(三島市)では、約200発の鉄砲玉が見つかっていました。

こうした数々の武器・防具の出土は、文献や記録から知られる激戦の様子が如実に示しているといえるでしょう。

駿府城内遺跡・葦山城跡の出土武器・防具は、県埋蔵文化財センター常設展「古代からの贈り物」(県立中央図書館3階展示室で開催)で御覧いただけます。

【埋蔵文化財センター】

御存知ですか？「静岡県教育委員会次世代育成支援行動計画」

～働きやすい職場づくりのために～

県教育委員会では、職員の子どもたちが、健やかに生まれ育つよう、事業主として取り組むべき行動計画を平成17年度から5年ごとに策定しています。

今期の計画では、職員アンケートで多く寄せられた「管理職員による職場の環境づくりが必要」という意見を反映し、「本計画を意識した行動をとった管理職員の割合100%」を新たに目標に加えました。管理職員は、例えば、配偶者が出産予定である職員に利用可能な休暇制度を説明して取得を促したり、事前に周囲の職員の理解促進を図って応援体制を整えたりするなどして、休暇を取得しやすい環境づくりに努めましょう。

また、管理職員以外の職員が取り組むべき計画も盛り込まれていますので、ぜひ一度目を通してください。(計画の詳細や過去の実績は、静岡県ホームページやNESパソコン「教委要綱要領データベース」からも確認できます。)

目標項目	目標値
次世代育成支援行動計画を意識した行動をとった管理職員の割合	100%
男性の育児参加休暇等の取得率(育児休業、配偶者出産休暇、育児参加休暇)	100%
年次有給休暇の取得日数(1人当たり)	H26(10.7日)比3日増
行政職員の時間外勤務等平均年間時間数(1人当たり)	H26(136.8H)比10%減

【教育総務課】

総合教育センター
まぎろい angle
タネから食農教育を考える



固定種の野菜を使用した調理実習

8月4日から5日までの2日間、総合教育センターで農と食の「魅力発見」研修が行われました。研修員は、収穫した野菜を調理して料理を作ります。

料理を作るに当たって、研修員は、「赤毛瓜」「白オクラ」「埼玉青大丸茄子」といった固定種の野菜に合う調理方法を考えるというテーマに沿って、様々な料理を計画しました。



研修員が作成した料理計画

今回、研修で使用した「固定種の野菜」とはどのようなものなのでしょうか。

市販タネの種類と特徴

野菜のタネには、固定種とF1種があります。現在、市販されているタネのほとんどは、F1種と呼ばれているものです。F1種とは、異なる系統

朝霧カーニバル開催

日 時 平成27年11月1日(日) 10:00~15:00

場 所 静岡県立朝霧野外活動センター

参加費 無料(材料費などがかかる活動もあります)

出展内容
- キャンプ場遊び
- 動物ふれあい広場
- バター作り体験
- 富士山世界遺産講座
- トラクターツアー
- プラネタリウム
- おもしろ科学実験
- 販売コーナー
- 軽食コーナー など

静岡県立朝霧野外活動センター
(指定管理者日本キャンプ協会グループ)
TEL0544(52)0321
HP http://asagiri.camping.or.jp/

夜の観音山を楽しみませんか?
観音山夜間ハイキング

神秘的な夜の森の散策と浜松の夜景が一望できる間の沢展望広場へのハイキングです。事前の申込みが必要です。当日は、所員がガイドとして同行します。

夜間ハイキングコース(3時間30分)
帰着後、自由解散となります。

開催日 平成27年11月28日(土)

対象 小学校3年生以上
※高校生以下保護者(責任者)同伴
10月19日(月)~11月20日(金)
午前9時から電話で受付

申込 観音山少年自然の家 TEL053(545)0111

定員 60人(先着順) 参加費 100円
集合時間 16時 出発時間 16時30分
解散予定 20時
持ち物 懐中電灯・水筒・タオル
※自動販売機はありません。 ※夕食の用意はありません。
服装 長袖、長ズボン、帽子、軍手
来所方法 自家用車
駐車場 周辺駐車場

観音山少年自然の家 TEL053(545)0111

間の沢展望広場からの夜景

ふれあい事業 焼津青少年の家まつり
「フェスタ石津浜」

焼津青少年の家では、地域の関係機関・団体との連携・協力のもと、地域とのコミュニケーションを図り「みなさんが集う青少年の家」づくりを目指しています。

そこで、日頃お世話になっている地元のみなさんという願いをこめて「青少年の家まつり」を開催します。今年は記念すべき20回目の開催となりました。どなたでも自由に参加いただけるイベントとなっておりますので、ぜひご来所ください。お待ちしております。

主催 静岡県教育委員会 (静岡県立焼津青少年の家)

日時 11月15日(日) 午前10時~午後3時

内容 ステージ発表、展示作品発表、活動プログラム体験、お祭りコーナー、販売コーナー、防災コーナー、浴室開放 など

参加料 無料 (ただし活動プログラム体験は材料費が必要です)

静岡県立焼津青少年の家 TEL054(624)4675

昨年のフェスタの様子

Mセイオ静岡 文化の丘フェスタ2015
平成27年度静岡県埋蔵文化財センター通跡調査報告会
「ふじのくにの原像をさぐる」

静岡県内において近年行われた発掘調査の成果から、最新情報を選んでお届けします。ここでしか聴けない道跡の情報満載です。

日時 平成27年11月7日(土) 13:30~16:00

会場 県立中央図書館講堂 (静岡市駿河区谷田53-1)

内容
①富里遺跡(とみざといせき) [袋井市] ~奈良時代の陶馬と墨書土器~
②遠江国分寺跡(とおとうみこくぶんじあと) [磐田市] ~全国初の本装基壇~
③長浜城跡(ながはまじょうあと) [沼津市] ~後北条氏の城跡~
④岡-玖須美石丁場群II遺跡(おかくすみいしじょうばいせき) [伊東市] ~江戸城築城石を切り出した石丁場~

定員200人(先着順)、事前申込み不要、参加費無料
(定員を超えた場合は入場をお断り場合があります。)

県埋蔵文化財センター TEL054(262)4261 TEL054(262)4266
Eメール maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

EDITOR

一面では、「暇出し教育」として思っている、暇出し木苗教育の長久メッセを掲載しています。教育長に就任して4カ月が過ぎた今の思いが、率直に語られています。ぜひ御読ください。

私事ですが本紙の担当になって2カ月が過ぎました。編集作業をしながら日々自分の勉強不足を痛感されています。教育長と立場は違いますが「暇出し事務局職員」として、魅力的な紙面づくりのため、これからも頑張ります。

文化・芸術の秋 10/24 11/8
「文化の丘フェスタ」で!

「ふじのくに文化の丘フェスタ」とは?

静岡市草薺周辺の文化関連機関の連携・協働による自主プロジェクト「Mセイオ静岡」そのメンバーである県立中央図書館、美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター(SPAC)、グランシップによる秋の一大イベントです。今年で5回目を迎えます。ここでは、県立中央図書館で開催する行事を御紹介します。

講演会
○大人のたしなみセミナー
一冊を知って、脳を活かす
日時 11月3日(火・祝) 14時~15時30分
講師 池谷 裕三氏 (東京大学薬学部教授)
場所 県立中央図書館講堂
定員 200人(先着順・要事前申込)

○すべての子どもたちに読書の喜びを「点字」つき絵本ができるまで
日時 11月8日(日) 14時~16時
講師 北川吉隆氏(株) 小学館図鑑NEO編集
場所 小学館図鑑NEO編集
中村悠子氏(株) 福音館書店月刊誌編集部
関谷裕子氏(株) こま社編集部
千葉美香氏(株) 偕成社

その他、企画展示も計画
中。詳しくは当館HPを御覧ください。

申請 県立中央図書館 企画振興課
TEL054(262)1246
http://www.tosyokan.jp
etshizuoka.jp

文化・芸術の秋 10/24 11/8
「文化の丘フェスタ」で!

「ふじのくに文化の丘フェスタ」とは?

静岡市草薺周辺の文化関連機関の連携・協働による自主プロジェクト「Mセイオ静岡」そのメンバーである県立中央図書館、美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター(SPAC)、グランシップによる秋の一大イベントです。今年で5回目を迎えます。ここでは、県立中央図書館で開催する行事を御紹介します。

講演会
○大人のたしなみセミナー
一冊を知って、脳を活かす
日時 11月3日(火・祝) 14時~15時30分
講師 池谷 裕三氏 (東京大学薬学部教授)
場所 県立中央図書館講堂
定員 200人(先着順・要事前申込)

○すべての子どもたちに読書の喜びを「点字」つき絵本ができるまで
日時 11月8日(日) 14時~16時
講師 北川吉隆氏(株) 小学館図鑑NEO編集
場所 小学館図鑑NEO編集
中村悠子氏(株) 福音館書店月刊誌編集部
関谷裕子氏(株) こま社編集部
千葉美香氏(株) 偕成社

その他、企画展示も計画
中。詳しくは当館HPを御覧ください。

申請 県立中央図書館 企画振興課
TEL054(262)1246
http://www.tosyokan.jp
etshizuoka.jp

文化・芸術の秋 10/24 11/8
「文化の丘フェスタ」で!

「ふじのくに文化の丘フェスタ」とは?

静岡市草薺周辺の文化関連機関の連携・協働による自主プロジェクト「Mセイオ静岡」そのメンバーである県立中央図書館、美術館、県立中央図書館、県埋蔵文化財センター、県舞台芸術センター(SPAC)、グランシップによる秋の一大イベントです。今年で5回目を迎えます。ここでは、県立中央図書館で開催する行事を御紹介します。

講演会
○大人のたしなみセミナー
一冊を知って、脳を活かす
日時 11月3日(火・祝) 14時~15時30分
講師 池谷 裕三氏 (東京大学薬学部教授)
場所 県立中央図書館講堂
定員 200人(先着順・要事前申込)

○すべての子どもたちに読書の喜びを「点字」つき絵本ができるまで
日時 11月8日(日) 14時~16時
講師 北川吉隆氏(株) 小学館図鑑NEO編集
場所 小学館図鑑NEO編集
中村悠子氏(株) 福音館書店月刊誌編集部
関谷裕子氏(株) こま社編集部
千葉美香氏(株) 偕成社

その他、企画展示も計画
中。詳しくは当館HPを御覧ください。

申請 県立中央図書館 企画振興課
TEL054(262)1246
http://www.tosyokan.jp
etshizuoka.jp

文化祭・体育祭など 広告
各イベントでご利用ください。
卒業記念品もご提供致します。

みなさんのデザインで、オリジナルグッズを作ってみませんか?

オリジナルショップ **グッズ**
〈見積り無料〉お気軽にご相談下さい。
Tel.054-285-6502
〒422-8066 静岡市駿河区泉町5-33.1F
Fax.054-286-3041

cap, bibs, blouson, apron, raglan, jacket, towel, parka, bag